



あいじつ



開校146周年

自分を見つめる～自分にも周りにも思いやり～

副校長 福成 利之

先日の学校公開日には、たくさんの保護者・地域の方々にお越しいただきました。ありがとうございました。もうすぐ前期の通知表が、一人一人に渡されます。どんな成長があって、どこをもっと頑張るか「自分を見つめる」よい機会となります。ぜひ、1学期の様子や学校公開の様子も振り返りながら、残り半年の目標を考えたり話し合ってみたりしてはいかがでしょうか。

さて、9月には愛知県、名古屋市周辺で、アジア大会が開催されています。1958年に東京、1994年に広島で開催され、2026年の愛知・名古屋大会で、32年ぶり3度目の日本開催となりました。オリンピックにはない、アジアで盛んなカバディやセパタクローなどのアジア大会ならではの種目があるのが特徴です。「自分を見つめる」中には、きっと「アジアならではの」「東京や新宿だから」、「自分だから」こそその特徴やよさがあると思います。

学校や学級の中ではどうでしょうか。一人一人、みんな違います。顔も違えば、性格、育った環境も違います。違うことが当たり前のことです。その「違い」が「自分らしさ」や「個性」とも言えます。つい、「自信がない・・・、周りと比べると・・・」と自分のいやなことに目がいりますが、自分と周りに「違い」があることは「当たり前」です。「わたしは、△△は苦手だけど、○○なら自信がある」、「あまり有名ではないけど、□□が好きだ」など、角度を変えれば自分らしさにも気付くはずです。自分を肯定的に「見つめる」ことは、おのずと互いのよさを認め合い、関わり合って、相手を「思いやる」ことにもつながります。

これから、スポーツフェスタ、展覧会、校外学習や日々の学校生活の中で、お互いの「自分らしさ」を認め合い、自分にも周りにも「思いやり」をもち関わり合えるようにしていきます。そして一人一人の頑張りを受け止め、認めていくことで、子どもたちの成長を支えて参ります。

愛日スタンダードについて

生活指導主任 神立 清文

私達は家庭や学校、地域といった、様々な「社会」の中で、周囲の人たちと関わり合いながら生活しています。小学校では6歳から12歳までの幅広い年齢層の児童が生活しています。皆が安全で安心して過ごすために“きまり”があり、それを皆が守ることが大切です。学校では学活や道徳の時間を使い、様々な角度から“きまり”を守っていくことの大切さ、規範意識を育てています。

「愛日スタンダード」には、

・登下校 ・持ち物 ・生活 ・遊び ・学習

の内容が書かれています。各学級でも「愛日スタンダード」の確認をしています。ご家庭でも折をみて、お子さんと一緒に確認をお願いします。

愛日小学校スポーツフェスタについて

体育主任 木之下 諒人

今年度のスポーツフェスタは、10月31日（土）に実施します。昨年度同様、1・3・5年生は団体競技、2・4・6年生は表現運動を行います。全員で一つの競技に一生懸命に取り組む姿や心を合わせて演技に取り組む姿を保護者の方々や地域の方々にもご覧いただきたいと思います。

今年度も校舎内から他学年の演技・競技を観覧いただけます。また、全児童校庭に降りて一緒に観戦するため、より一体感のあるスポーツフェスタになります。

スポーツフェスタ期間中スポーツドリンクも可能です。水筒や着替え、汗拭きタオルの準備をお願いします。